

事業者向け 児童発達支援自己評価表

事業所名:みらいずジュニア美郷

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			スペースも十分に取れた環境の中で療育できている。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%			適切な人数で対応できている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%			子どもたちが活動するにあたって危険のない空間と感じている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%			活動ごとにパーティションで場所を分けて支援している。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%			振り返りの時間を取ることで、目標設定と振り返りが日常的にできている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			保護者から意見や家庭での情報、こんな支援があったらいいという内容を支援に生かしている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			HPIに公表している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	100%			保護者アンケートからの意見を支援に生かしている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			全体での研修を行い、虐待やプログラム内容について学ぶ機会がある。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%			保護者や子供の気持ちを大切に個別支援計画に生かしている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%			児童一人一人の状況をスタッフで共有し統一した支援を行っている。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%			その子にあった内容の療育プログラムを行うよう意識している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%			個別支援計画に沿った内容で支援している。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			委員会で話し合った内容を事業所でも話し合い、プログラムを作成している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			その子にあった内容の療育プログラムを行うよう意識している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	100%			子どもの運動や得意不得意に合わせた療育を提供している。

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%		MTGを徹底し支援内容について確認している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%		必ず振り返りを行っている。また改善点もすぐに取り入れ実行している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%		記録は必ず取り、改善につなげている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%		スタッフ間や相談員と適宜モニタリングを行っている。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%		管理者が参加している。普段子供たちとのかかわりが多いスタッフから意見をもらっている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%		送迎時等で、保育園と事業所での様子について共有している。
	23	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%		保育園に訪問し担当者会議を行う中で情報共有している。
	24	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%		保育園に訪問し担当者会議を行う中で情報共有している。
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%		医療機関からの情報を保護者様経由でいただいている。
	26	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		100%	障害のない子供たちとの交流の機会など地域との交流を今後の課題としていきたい。
	27	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		100%	美郷町は開催していないので今後そのような機会があれば参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%		送迎時、面談時に必ず報告し、平日利用のお子さんは連絡帳で情報を発信している。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		100%	実施計画は立てているため、参加いただけるよう声掛けしていく。
	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%		契約時に丁寧な説明を心がけている。
	31	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%		個別支援計画に療育内容を記載し保護者に同意を得ている。
	32	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%		悩み相談やこうなってほしいという内容に話があったときは傾聴し支援に役立っている。
	33	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		100%	保護者同士の連携を図る機会はないため、今後実施に向けて検討していきたい。
	34	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%		そのままにせずすぐに対応するよう心掛けている。

	35	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			みらいず新聞を制作している。
	36	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%			外部では利用児の話をしないう徹底している。 万が一他児のことを聞かれたときはお答えできないと伝えている。
	37	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			誤解のない言葉、配慮ある言葉を意識している。 良い報告で終わるよう意識している。
	38	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			100%	地域住民とのかかわりは少ないため、今後地域との繋がりを持てる機会を検討していきたい。
非常時等の対応	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100%			マニュアルについて職員で確認している。
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			避難訓練は事業所ごとに取組むことができている。
	41	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%			契約時確認している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%			食事の提供はしていない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		50%	50%	ヒヤリハットの書式等はないが、危険と思われる事例は必ず共有している。今後様式を作成していく。
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			虐待防止研修を実施している。
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	100%			契約時に必ず保護者にお伝えをしている。